

大沢おほさはの池いけは清涼寺せいりやうじの良よにあり、菊きくが島しまといふは池の中島なり、天神てんじんのやしろあり。〔此ゆゑに天神島てんじんしまともいふ〕庭湖ていこ

石せき〔此かたはらの池中にあり、むかし嵯峨院さかのゐんありし時巨勢金岡こせのかなをかが建しなり〕

新続古おほさは 大沢の池のけしきはふりゆけどかはらずすめる秋の夜の月 俊 成

夫 木 大沢の池の玉ものみかくれに蛙なくなり五月雨の頃 康 光

五所明神ごしよのの社は大沢の西にあり、名古曾なこそのだき灌は其北にあり。〔むかしは此地に灌殿あり、兼好けんかうが家集に見えたり〕

拾 遺 灌の音はたえて久しくなりぬれど名こな流れて猶聞えけれ 大 納 言

小淵といふは桜の双樹あり。〔今は人家多し〕